

国際交流員ダニエルの

KANGA  
KOURYUU

カンガ交流



## 寛大の精神を象徴する硬貨

慈善という言葉は英語でいくつかの表現があります。その中でも、子どものときに先生から教わった「A little goes a long way (ア・リトル・ゴーズ・ア・ロング・ウェイ:少しでも大いに役に立つ)」という言葉は今でも覚えています。お金があまりなくても、ほんの少し寄附することで、寄附を必要とする人にとってはとても価値がある行動になります。多くの人が少しずつ寄附することで、大きなことが成し遂げられます。この考え方は、オーストラリアの慈善文化に影響を与え、多くの募金事業が「Gold Coin Donation (※ページ右上のオージー・スラング・タイムを見てくださいね。)」という寄附の方法をとっています。今回は「Gold Coin Donation」に関係のある硬貨のことを紹介します。どうぞ、楽しんで読んでください。

### 新しい硬貨「Donation Dollar」

今年の9月に国立オーストラリア造幣局は、「Donation Dollar (ドネーション・ドラー)」という新しい硬貨を製造し、世界初の寄附活動支援事業を発表しました。オーストラリアでは、お釣りとしてこの新しい1ドル硬貨(約77円)をもらうことができます。この硬貨は買い物などでも利用できますが、チャリティーや募金箱の寄附として使ってほしいという造幣局の思いが込められています。



▲ Donation Dollar (ドネーション・ドラー)

「Donation Dollar」の表面には波のモチーフがあります。寄附することで良い影響が波及効果のように広がっていくことを表しており、下部には「GIVE TO HELP OTHERS (寄附して人を助けよう)」と書かれ、慈善の精神を持つことの大切さを訴えています。

### 慈善活動の大切さ

この1年間、オーストラリアには大規模森林火災や新型コロナウイルス感染症の流行で苦しむ人が多くいます。造幣局はそんな人たちを支援するため、「Donation Dollar」の支援事業を立ち上げました。

## オージー・スラング・タイム

オーストラリアのスラングを学ぼう

### "Gold Coin Donation"

読み方 「ゴールド・コイン・ドネーション」

意味 「1~2ドルの寄附」

オーストラリア通貨の1ドルと2ドル硬貨は金色なので「Gold Coin」と呼ばれています。「Gold Coin Donation」とは「Gold Coin」を「Donation=寄附」という意味で、1~2ドルの寄附がふさわしいときに使われます。小規模なチャリティー募金イベントで「Gold Coin」を寄附すると、紅茶やソーセージがもらえたり、くじ引きができたりと、楽しみながら支援することができます。

すべてのオーストラリア人が月に1回「Donation Dollar」を寄附すれば、1年間で約3億ドル(230億円)の募金になります。また「Donation Dollar」についてのアンケートでは、「硬貨を手に入れたときに寄附をする」と答えた人が57%いました。造幣局とチャリティー団体はその結果を受けて、国民の寄附活動はもっと活発になると期待しています。これからは、お釣りをもらったときに、募金箱に入れる機会が増えるかもしれませんね。さらに、親子で「Donation Dollar」探しをすることで、楽しみながら慈善活動の大切さを学ぶ機会が増えることとなります。子どもたちに思いやりの精神を教えるきっかけにもなるので、「Donation Dollar」はいろいろな意味で良いアイデアではないでしょうか。

### 皆さんも「Kifu Koin」を

これから数年に渡り、造幣局はこの「Donation Dollar」をオーストラリアの人口と同じ2,500万枚製造し、流通させる計画を立てています。日本では同じような計画は難しいかもしれませんが、皆さんもお釣りでもらった硬貨を「Kifu Koin」として、募金箱に入れてみてはどうですか。



※新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントなどが中止または延期になることがあります。各イベントが開催されるかどうか分からないときは、担当課または主催者に問い合わせてください。